

情報交換会をスタート

インキュベーション施設の管理運営、ベンチャー企業向け支援事業などの(株)アイ・ビー・ピー(福岡市中央区天神2丁目、篠原保彦社長)は7月25日、ibbfukuokaビル(同所)で、企業向けの情報交換会「ibbnighting power meeting」をスタートした。

これまで運営施設の入居企業向けに交流会を開催してきたが、参加ターゲットを拡大し、一般からも参加可能な情報交換会として初開催した。



当日は約20人が参加。会の冒頭には参加者の自己紹介の時間も設けられた

第一回目のテーマは「アジアビジネス」で、ibbfukuokaビルの入居企業3社が講演した。

配送拠点を小竹団地に進出

久留米運送(株)(久留米市東櫛原町、二又茂明社長)と小竹町(松尾勝徳町長)は7月28日、同町内総合福祉センターで立地協定締結式を実施した。

全国65カ所に拠点をもち、同社は、飯塚店の狭小化に伴い、小竹団地に新築移転をするもので、来年4月の操業開始を予定している。協定書にサイン後、松尾町長は「企業が誠意をもってバックアップしたい」と挨拶。続いて二又



立地協定書にサイン後、写真撮影に臨む関係者

社長は「この地域は自動車産業が活発で、小竹団地は新規顧客獲得にも期待がかかるいい立地」と話した。

自社ブランドの省エネ照明で事業拡大へ

「事業の多角化、自社のオリジナル商品の開発によって経営基盤を固め、さらなる成長を目指したい」と語るのは、プリント基板の設計、製造業の(株)豊光社(北九州市小倉北区上到津2丁目)の倉光宏社長。同社は産業用機械の電子部品であるプリン



倉光 宏
株豊光社
社長

ト基板の設計、製造会社として40年の実績を生かし、電流センサや省エネ照明の開発などの新規事業に注力している。

昨年、開発した自社ブランド「次世代照明ソラナ」は、液晶テレビのバックライトに使用されているCCFL管を用いており、1日12時間使用で10年以上持つ長寿命と電気代を20%削減できる省エネが特徴。また広範囲に均一な光の照射が可能なことに加え、LED

照明に比べ価格が安いことから地場企業を中心に全国のオフィスや工場に販売実績を伸ばしている。「取引先の業種が限られるプリント基板や電流センサとは異なり、照明は市場が広く、その性能や効果をPRしやすい。県外での販売は代理店に任せているが、福岡、九州の顧客が増えた」という。

来年度にはタイに照明の製造、販売会社を設立する計画。ターゲット価格を現在の3割減に抑え、タイのほかにはインドネシア、インドへの販路拡大も視野に入

れている。「次世代照明ソラナ」は熱に強い性質を持つので、暑い気候の東南アジアでの需要が期待できるといふ。「東南アジア地域への視察がタイ進出に挑戦するきっかけになった。今後、会社全体の3割まで照明事業での売上を伸ばしていきたい」と抱負を語った。

DATA	
【住所】	〒803-084 北九州市小倉北区 上到津2丁目7-30
【設立】	1969年1月
【資本金】	3000万円
【売上高】	15億3500万円 (2010年8月期)
【従業員数】	27人
【業種】	プリント基板設計、製造 直流電流センサの製造、 販売 照明機器の開発、販売